



ごきしちどう ごきはちどう
五畿七道から五畿八道へ

見本

古代日本の飛鳥時代より続いた律令制(りつりょうせい)による行政区画(ぎょうせいかく: 政治を行うための区画分け)の五畿七道(ごきしちどう)は、明治初期にいくつかの分立(ぶんりつ)がおこなわれ、蝦夷地(えぞち)とよばれた北海道も追加されました。

明治元年(1868):

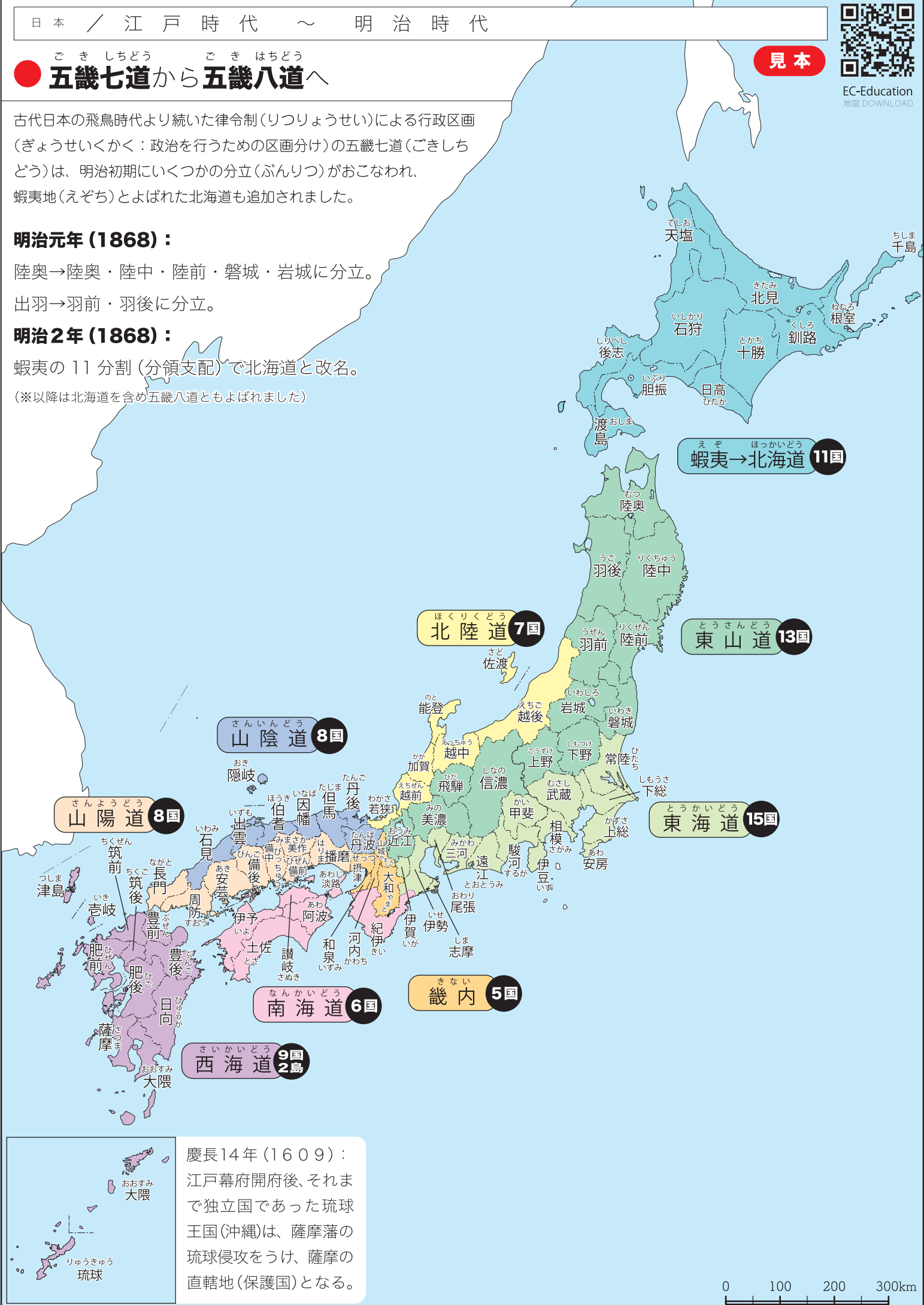
陸奥→陸奥・陸中・陸前・磐城・岩城に分立。

出羽→羽前・羽後に分立。

明治2年(1868):

蝦夷の11分割(分領支配)で北海道と改名。

(※以降は北海道を含め五畿八道ともよばれました)



慶長14年(1609):
江戸幕府開府後、それまで独立国であった琉球王国(沖縄)は、薩摩藩の琉球侵攻をうけ、薩摩の直轄地(保護国)となる。